



J R 東労組 仙台地方本部 第39回定期地方委員会



2月16日(土)ハーネル仙台において第39回定期地方委員会を開催し、定期大会以降の職場からの組織強化拡大のたたかひの総括と今後の運動方針を満場一致で確認しました。13名の委員からは、18春闘以降の経過も含めて新生JR東労組をつくり上げる為に、定期大会以降に職場からの実践的な運動で組織強化拡大の取り組みを行ってきた教訓的な発言が多く出されました。またもう一度、自身の行動を振り返りながら、職場の団結強化の為に取り組み、特に業務問題を中心に仲間と議論を積み重ね、脱退せざるを得なかった仲間とも議論しながら苦闘してきた発言がありました。12地本が一体とはなっていない現実にも触れ、多くの職場ではいち早くひとつになって向かう事を望んでいる声が多く、組織拡大の足かせになっているという声もあります。仙台地本として職場からの実践的なたたかひを積み重ねて、あらゆる困難に全組合員で向かっていけるよう運動をつくり出していきます。また、例年は懇親会は開催しないものの、今この時だからこそ仲間との交流が重要である事から盛大に開催し、それぞれの職場で奮闘する仲間同士が意見を出し合いながら、自職場のたたかひに繋がられる様に様々な意見を交わしました。19春闘が始まりました。連合は賃金の上げ幅である額要求から、産別の働き方に見合った水準追求へと転換を図るとして、19春闘をその足がかりとすると主張しています。本部の職場討議資料を職場集会で活用しながら、今一度、春闘の意義について捉え返し、仲間との議論を繰り返し積み重ねて本部交渉団を支えていきましょう！



議長
小田田支部
太田委員



本部来賓
徳野執行副委員長
佐藤総務財政部長
井上業務担当部長



仙台地本「春闘総決起集会」
3月12日開催！